

(別紙3)

29千体協発第10号

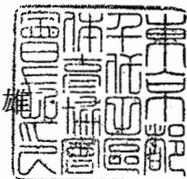
平成29年7月27日

千代田区

文化スポーツ担当部長 門口昌史様

千代田区体育協会

会長 鈴木利雄



新スポーツセンター整備に向けた機能の整理について

盛夏の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

千代田区の皆様には、平素より本区スポーツの振興にご尽力いただきますとともに、当協会の活動に対しましてご理解ご支援を賜り誠にありがとうございます。

また、新スポーツセンターにつきましても、その機能及び整備スケジュール等、整備の方向性の作成に向けご検討いただいておりますことに心より感謝申し上げます。

新スポーツセンター整備については、現スポーツセンターを拠点として事業を展開し、本区のスポーツ振興の一翼を担っている当協会にとりましても喫緊の課題であると認識しております。

当協会は、これまで、加盟各競技団体と新スポセンの機能及び競技施設の規模や設備などについて、現スポーツセンターの利用実績を踏まえた意見交換を行ってまいりました。また、昨年8月には役員に声をかけ、都内最大級といわれる墨田区総合体育館の視察を行ったほか、その後も加盟団体理事長会あるいは本年度総会などの機会をとらえて新スポセン整備の現状等について情報提供を行っているところです。

一方、当協会は平成21年以降、石川区長並びに区議会議長あて要望書や陳情書を提出させていただいたほか、区議会の皆様との意見交換等を行ってまいりましたが、昨年1月、区議会議長から陳情の審査結果が送付されるとともに、地域振興部長から体協において新スポセンの機能について整理するよう指示をいただきました。

つきましては、この間の加盟団体との協議及び区議会における議論等を踏まえ、別紙のとおり「新スポーツセンター整備に向けた機能の整理について」を取りまとめましたので提出いたします。



新スポーツセンター整備に向けた機能の整理について

新スポーツセンターに求める機能の整理

【施設全般】

- ・最低限、現スポーツセンターの建築延床面積以上の施設が必要である。
- ・主競技場は、公式大会を開催するに足りる（バドミントン、バレーボール、バスケットボール）機能及び施設が必要である。
- ・プールは、短水路で公式大会を開催するに足りる機能及び施設が必要である。

【競技場】

・現状では、種目ごとに競技場が区分されている。工夫により競技場の複合化が可能な場合は、種目ごとに併用して利用することもできる。ただし、複合化した場合でも、現状の各競技場の面積以上を確保することが望ましい。

（例：柔道場・剣道場を併合して武道場とする。床は板張りとし、可動式の畳を配置して種目ごとに併用利用する）

【放送設備】

・現状では、全館（各階）放送が可能な設備は1階事務室のみにあり、3階主競技場の設備では主競技場内のみしか放送できない状況である。そのため、集会室を選手・役員等の控室として使用した場合、主競技場からの放送が入らず、人が移動して連絡する必要がある。そこで、主競技場にも全館（災害時等）、とくに諸室を選択して放送できる設備があることが望ましい。

【更衣室】

・現状では、1階（プール利用者用）、2階（競技場利用者用）、3階（主競技場、トレーニングルーム利用者用）の更衣室がある。先日視察した墨田区総合体育館では、すべての利用者は1つの更衣室を利用していた。新スポーツセンターでは、競技場フロアごとに更衣室を配置することが望ましいが、諸室や施設整備の配置状況により1つの更衣室で対応する場合は、利便性に配慮した工夫が必要である。

【昇降施設】

・現状では、エレベータが2機、屋内階段と屋外階段がそれぞれ2か所設置されている。しかし、大会等で多くの方が利用する場合、エレベータの稼働が追いついていない状況で

ある。そこで、エレベータは3機設置し、1機が使用不能であっても、残り2機は稼働できる状態が望ましい。また、利用目的によって1機を資機材運搬用としても使えるような工夫も必要である。

- ・屋内階段は緩やかな段差にするとともに両側に手すりを設けるなど、障害者や高齢者の安全面へのより一層の配慮をする必要がある。

【会議室】

- ・会議室は会議等の利用のみならず、床は板張りにして壁に鏡を配置するなど、スタジオとしても活用できるよう、多機能化を図ることが望ましい。また、大会時の選手・役員等の控室としても利用するため、室内に可動間仕切りを設置し、利用目的に応じて形状を変更できることが望ましい。

【駐車駐輪設備】

- ・駐車場は少なくとも現在の台数（23台。うち1台は身体障害者対応）以上が駐車できるスペースを確保するとともに、運搬車両が入ることを想定して、ある程度の高さを確保することが必要である。また、緊急車両にも対応できるような工夫が必要である。
- ・駐輪場を屋外に整備する場合は、屋根付きであることが望ましい。

【その他設備】

- ・各種競技大会・講習会や活動団体の情報発信の拠点として、情報コーナーを設置するなどの工夫が必要である。
- ・地域防災拠点の観点からも、フリーWi-fi環境の整備が必要である。
- ・すべての利用者が安全・安心に利用できる施設となるよう、バリアフリー、ユニバーサルデザインに根差した施設とする必要がある。
- ・ランニングコースは施設の形状により周回コースでの確保ができない場合は、必要性の可否について検討が必要である。
- ・新スポーツセンターでは、ウォーミングアップスペースを確保することが望ましい。
- ・現在の施設内は全体的に暗さを感じるため、新スポーツセンターでは、競技場や諸室だけでなく、共用部分にも採光によって明るさを確保するとともに、空間の高さの確保や色彩の活用によって広さを感じる工夫が必要である。
- ・屋上は、現状でも稼働率の高いゴルフレンジや、屋外でも可能な運動施設の整備など、利活用が可能であることが望ましい。